

結果の概要

第1章 農林業経営体

1 農林業経営体数

◇農林業経営体数は、13,974 経営体

◇前回から 11.7%減少したが、減少率は全国結果(18.7%)を 7.0ポイント下回る

平成 27 年2月1日現在で実施した「2015 年農林業センサス」の結果、神奈川県
の農林業経営体数は 13,974 経営体となり、平成 22 年に実施した「2010 年世界農
林業センサス」（以下「前回」という。）と比べると、1,858 経営体（増減率
11.7%）減少している。

このうち、農業経営体数は 13,809 経営体、林業経営体数は 326 経営体となり、
前回と比べると、それぞれ 1,803 経営体（同 11.5%）、95 経営体（同 22.6%）
減少している。

農林業経営体数の増減率を全国結果（同 18.7%の減少）と比べると、7.0ポイント
下回っている。

（表 1-1 参照）

表1-1 農林業経営体数

単位（経営体、%）

区分	神奈川県			全国		
	農林業経営体	農業経営体	林業経営体	農林業経営体	農業経営体	林業経営体
2015年	13,974	13,809	326	1,404,488	1,377,266	87,284
2010年	15,832	15,612	421	1,726,751	1,679,084	140,186
2005年	17,444	17,121	570	2,085,086	2,009,380	200,224
増減数						
2015～2010年	△ 1,858	△ 1,803	△ 95	△ 322,263	△ 301,818	△ 52,902
2010～2005年	△ 1,612	△ 1,509	△ 149	△ 358,335	△ 330,296	△ 60,038
増減率						
2015～2010年	△ 11.7	△ 11.5	△ 22.6	△ 18.7	△ 18.0	△ 37.7
2010～2005年	△ 9.2	△ 8.8	△ 26.1	△ 17.2	△ 16.4	△ 30.0

第2章 農業経営体

1 農業経営体数

◇農業経営体数は、13,809 経営体

◇経営組織別では、組織経営体が 178 経営体で前回から 73 経営体(69.5%)増加

神奈川県は農業経営体数は 13,809 経営体となり、前回と比べると、1,803 経営体（増減率 11.5%）減少している。農業経営体数の増減率を全国結果（同 18.0%の減少）と比べると、6.5 ポイント下回っている。

経営組織別にみると、家族経営体数は 13,631 経営体となり、前回と比べると 1,876 経営体（同 12.1%）減少している。一方、組織経営体数は 178 経営体となり、前回と比べると 73 経営体（同 69.5%）の増加となっている。

（表 2-1 参照）

表2-1 農業経営体数 (単位：経営体、%)

区分	神奈川県						全国					
	農業経営体		家族経営体		組織経営体		農業経営体		家族経営体		組織経営体	
		法人経営		法人経営		法人経営		法人経営		法人経営		法人経営
2015年	13,809	268	13,631	111	178	157	1,377,266	27,101	1,344,287	4,323	32,979	22,778
2010年	15,612	233	15,507	137	105	96	1,679,084	21,627	1,648,076	4,558	31,008	17,069
2005年	17,121	324	16,991	227	130	97	2,009,380	19,136	1,981,283	5,267	28,097	13,869
増減数												
2015~2010年	△ 1,803	35	△ 1,876	△ 26	73	61	△ 301,818	5,474	△ 303,789	△ 235	1,971	5,709
2010~2005年	△ 1,509	△ 91	△ 1,484	△ 90	△ 25	△ 1	△ 330,296	2,491	△ 333,207	△ 709	2,911	3,200
増減率												
2015~2010年	△ 11.5	15.0	△ 12.1	△ 19.0	69.5	63.5	△ 18.0	25.3	△ 18.4	△ 5.2	6.4	33.4
2010~2005年	△ 8.8	△ 28.1	△ 8.7	△ 39.6	△ 19.2	△ 1.0	△ 16.4	13.0	△ 16.8	△ 13.5	10.4	23.1

2 経営耕地の状況

◇経営耕地は 1,126,238a、前回から 142,879a(11.3%)減少

◇地域別では、湘南地域の 355,048a(県全体の 31.5%)が最大

◇経営耕地面積規模別では、「0.5~1ha 未満」が 4,998 経営体(36.2%)で最多

(1) 地目別にみた経営耕地の状況

農業経営体の経営耕地面積は 1,126,238a となり、前回と比べると、142,879a（増減率 11.3%）減少している。

地目別にみると、畑が 634,502a（経営耕地面積全体に占める割合 56.3%）と最も多く、次いで田の 268,345a（同 23.8%）となっている。前回と比べると、増減率で樹園地が 18.1%（増減数 49,536a）と最も減少し、次いで田が 11.1%（同 33,448a）の減少となっている。

（表 2-2-1 参照）

表2-2-1 地目別にみた経営耕地の状況 (単位：a、%)

	2015年		2010年		増減数	増減率
	面積	構成比	面積	構成比		
経営耕地面積	1,126,238	100.0	1,269,117	100.0	△ 142,879	△ 11.3
田	268,345	23.8	301,793	23.8	△ 33,448	△ 11.1
畑	634,502	56.3	694,397	54.7	△ 59,895	△ 8.6
樹園地	223,391	19.8	272,927	21.5	△ 49,536	△ 18.1

(2) 地域別にみた経営耕地の状況

地域別にみると、湘南地域が 355,048a（県全体の経営耕地面積に占める割合 31.5%）と最も大きく、次いで県西地域の 233,803a（同 20.8%）、横浜地域の 169,094a（同 15.0%）の順となっている。地目別にみると、田は湘南地域が 124,180a（県全体の田の経営耕地面積に占める割合 46.3%）と最も大きく、畑でも湘南地域が 183,438a（県全体の畑の経営耕地面積に占める割合 28.9%）と最も大きくなっている。樹園地では県西地域が 118,319a（県全体の樹園地の経営耕地面積に占める割合 53.0%）と最も大きくなっている。

(表 2-2-2 参照)

表2-2-2 地域別にみた経営耕地の状況 (単位：a、%)

地域	経営耕地		田		畑		樹園地	
	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比
神奈川県	1,126,238	100.0	268,345	100.0	634,502	100.0	223,391	100.0
横浜地域	169,094	15.0	12,808	4.8	129,121	20.3	27,165	12.2
川崎地域	36,541	3.2	1,330	0.5	24,013	3.8	11,198	5.0
相模原地域	45,619	4.1	6,062	2.3	35,090	5.5	4,467	2.0
横須賀・三浦地域	138,197	12.3	1,934	0.7	132,305	20.9	3,958	1.8
県央地域	147,644	13.1	60,601	22.6	76,382	12.0	10,661	4.8
湘南地域	355,048	31.5	124,180	46.3	183,438	28.9	47,430	21.2
県西地域	233,803	20.8	61,396	22.9	54,088	8.5	118,319	53.0

(3) 経営耕地面積規模別の農業経営体数

経営耕地面積規模別に農業経営体数をみると、「0.5~1.0ha」の農業経営体が 4,998 経営体（農業経営体数に占める割合 36.2%）と最も多く、次いで「0.3~0.5ha」の 3,471 経営体（同 25.1%）、「1.0~1.5ha」の 2,094 経営体（同 15.2%）の順となっている。

前回と比べると、「3.0~5.0ha」及び「5.0ha 以上」ではそれぞれ 27 経営体（増減率 20.0%）、16 経営体（同 31.4%）と増加している。

(表 2-2-3 参照)

表2-2-3 経営耕地面積規模別の農業経営体数

(単位：経営体、%)

区分	2015年		2010年		増減数	増減率
	経営体数	構成比	経営体数	構成比		
農業経営体数	13,809	100.0	15,612	100.0	△ 1,803	△ 11.5
経営耕地なし	333	2.4	113	0.7	220	194.7
0.3ha未満	1,268	9.2	1,196	7.7	72	6.0
0.3~0.5	3,471	25.1	4,067	26.1	△ 596	△ 14.7
0.5~1.0	4,998	36.2	6,107	39.1	△ 1,109	△ 18.2
1.0~1.5	2,094	15.2	2,411	15.4	△ 317	△ 13.1
1.5~2.0	907	6.6	1,020	6.5	△ 113	△ 11.1
2.0~3.0	509	3.7	512	3.3	△ 3	△ 0.6
3.0~5.0	162	1.2	135	0.9	27	20.0
5.0ha以上	67	0.5	51	0.3	16	31.4

3 耕作放棄地

◇耕作放棄地は 66,499a、前回から 4,909a(8.0%)増加

農業経営体の耕作放棄地は 66,499a となり、前回と比べると 4,909a (増減率 8.0%) 増加している。

地域別にみると、県西地域が 32,051a (県全体の耕作放棄地面積に占める割合 48.2%) と最も大きく、次いで湘南地域が 20,399a (同 30.7%) となっている。前回と比べると、湘南地域が 2,663a (増減率 15.0%) 増加し、次いで横浜地域が 1,208a (同 37.8%) 増加している。

(表 2-3 参照)

表2-3 地域別にみた耕作放棄地面積

(単位：a、%)

地域	2015年		2010年		増減数	増減率
	面積	構成比	面積	構成比		
神奈川県	66,499	100.0	61,590	100.0	4,909	8.0
横浜地域	4,404	6.6	3,196	5.2	1,208	37.8
川崎地域	550	0.8	764	1.2	△ 214	△ 28.0
相模原地域	2,807	4.2	2,308	3.7	499	21.6
横須賀・三浦地域	1,833	2.8	1,872	3.0	△ 39	△ 2.1
県央地域	4,423	6.7	4,517	7.3	△ 94	△ 2.1
湘南地域	20,399	30.7	17,736	28.8	2,663	15.0
県西地域	32,051	48.2	31,197	50.7	854	2.7

第3章 農家

1 農家数

◇農家数は 24,552 戸、前回から 3,444 戸(12.3%)減少

◇販売農家の減少率は 14.7%、自給的農家の減少率(9.6%)を上回る

神奈川県の販売農家と自給的農家を合わせた農家数は 24,552 戸となり、前回と比べると 3,444 戸（増減率 12.3%）減少している。販売農家数は 12,685 戸、自給的農家数は 11,867 戸となり、前回と比べると、それぞれ 2,178 戸（同 14.7%）、1,266 戸（同 9.6%）減少している。

農家数の増減率を全国結果（同 14.7%の減少）と比べると、2.4 ポイント下回っている。

（表 3-1 参照）

区分	神奈川県			全国		
	農家	販売農家	自給的農家	農家	販売農家	自給的農家
2015年	24,552	12,685	11,867	2,155,082	1,329,591	825,491
2010年	27,996	14,863	13,133	2,527,948	1,631,206	896,742
2005年	29,681	16,414	13,267	2,848,166	1,963,424	884,742
増減数						
2015～2010年	△ 3,444	△ 2,178	△ 1,266	△ 372,866	△ 301,615	△ 71,251
2010～2005年	△ 1,685	△ 1,551	△ 134	△ 320,218	△ 332,218	12,000
増減率						
2015～2010年	△ 12.3	△ 14.7	△ 9.6	△ 14.7	△ 18.5	△ 7.9
2010～2005年	△ 5.7	△ 9.4	△ 1.0	△ 11.2	△ 16.9	1.4

2 耕作放棄地

◇農家及び土地持ち非農家の耕作放棄地は 249,673a、前回から 9,127a(3.5%)減少

◇地域別では、県西地域の 89,802a(県全体の 36.0%)が最大

農家及び土地持ち非農家の耕作放棄地は 249,673a となり、前回と比べると 9,127a（増減率 3.5%）減少している。

地域別にみると、県西地域の耕作放棄地面積が 89,802a（県全体の耕作放棄地面積に占める割合 36.0%）と最も大きく、次いで湘南地域の 67,361a（同 27.0%）、相模原地域の 45,347a（同 18.2%）の順となっている。前回と比べると、相模原地域では 11,787a（増減率 20.6%）減少しているが、湘南地域では 4,273a（同 6.8%）増加している。

販売農家の耕作放棄地は 58,803a となり、前回と比べると 1,531a（同 2.7%）増加している。一方で、自給的農家の耕作放棄地は 85,638a、土地持ち非農家の耕

作放棄地は 105,232a となり、前回と比べると、それぞれ 8,299a (同 8.8%)、2,359a (同 2.2%) 減少している。

(表 3-2-1、3-2-2 参照)

表3-2-1 地域別にみた耕作放棄地面積（農家及び土地持ち非農家） (単位：a、%)

地域	2015年		2010年		増減数	増減率
	面積	構成比	面積	構成比		
神奈川県	249,673	100.0	258,800	100.0	△ 9,127	△ 3.5
横浜地域	11,906	4.8	11,673	4.5	233	2.0
川崎地域	1,327	0.5	2,453	0.9	△ 1,126	△ 45.9
相模原地域	45,347	18.2	57,134	22.1	△ 11,787	△ 20.6
横須賀・三浦地域	7,819	3.1	8,653	3.3	△ 834	△ 9.6
県央地域	26,079	10.4	26,775	10.3	△ 696	△ 2.6
湘南地域	67,361	27.0	63,088	24.4	4,273	6.8
県西地域	89,802	36.0	89,024	34.4	778	0.9

表3-2-2 耕作放棄地面積（農家及び土地持ち非農家） (単位：a、%)

区分	計	販売農家	自給的農家	土地持ち非農家
2015年	249,673	58,803	85,638	105,232
2010年	258,800	57,272	93,937	107,591
増減数	△ 9,127	1,531	△ 8,299	△ 2,359
増減率	△ 3.5	2.7	△ 8.8	△ 2.2

第4章 販売農家

1 販売農家数

◇販売農家数は12,685戸

◇主副業別では、ほぼ半分が副業的農家

◇専兼業別では、兼業農家が約6割

(1) 主副業別農家数

販売農家数を主副業別にみると、主業農家は3,514戸（販売農家数に占める割合27.7%）、準主業農家は2,778戸（同21.9%）、副業的農家は6,393戸（同50.4%）となっている。

前回と比べると、販売農家数に占める主業農家及び準主業農家の割合が減少し、ほぼ半数が副業的農家となっている。

（表4-1-1 参照）

表4-1-1 主副業別農家数 （単位：戸、％）

区分	販売農家		主業農家		準主業農家		副業的農家	
	農家数	構成比	農家数	構成比	農家数	構成比	農家数	構成比
2015年	12,685	100.0	3,514	27.7	2,778	21.9	6,393	50.4
2010年	14,863	100.0	4,315	29.0	3,718	25.0	6,830	46.0
増減数	△2,178	-	△801	-	△940	-	△437	-
増減率	△14.7	-	△18.6	-	△25.3	-	△6.4	-

- ◆主業農家…農業所得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で、調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる農家
- ◆準主業農家…農外所得が主（農家所得の50%未満が農業所得）で、調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる農家
- ◆副業的農家…調査期日前1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない農家（主業農家及び準主業農家以外の農家）

(2) 専兼業別農家数

販売農家数を専兼業別にみると、専業農家は5,031戸（販売農家数に占める割合39.7%）、第1種兼業農家は1,301戸（同10.3%）、第2種兼業農家は6,353戸（同50.1%）となり、第1種兼業農家と第2種兼業農家を合わせると、約6割が兼業農家となっている。

前回と比べると、第1種兼業農家が791戸（増減率37.8%）、第2種兼業農家が

1,554 戸（同 19.7%）それぞれ減少している一方で、専業農家数が 167 戸（同 3.4%）増加している。

（表 4-1-2 参照）

表4-1-2 専業別農家数 (単位：戸、%)

区分	販売農家		専業農家		第1種兼業農家		第2種兼業農家	
	農家数	構成比	農家数	構成比	農家数	構成比	農家数	構成比
2015年	12,685	100.0	5,031	39.7	1,301	10.3	6,353	50.1
2010年	14,863	100.0	4,864	32.7	2,092	14.1	7,907	53.2
増減数	△ 2,178	-	167	-	△ 791	-	△ 1,554	-
増減率	△ 14.7	-	3.4	-	△ 37.8	-	△ 19.7	-

- ◆ 専業農家…世帯員の中に兼業従事者（調査期日前1年間に他に雇用されて仕事に従事した者又は自営農業以外の自営業に従事した者）が1人もいない農家
- ◆ 兼業農家…世帯員の中に兼業従事者が1人以上いる農家
- ◆ 第1種兼業農家…農業所得を主とする兼業農家
- ◆ 第2種兼業農家…農業所得を従とする兼業農家

（3） 経営方針の決定に関わっている者の状況別農家数

販売農家における経営者のうち男性の占める割合は 92.4%、女性は 7.6%となっている。また、女性が経営者又は経営方針の決定に関わっている割合は 44.8%で、全国結果（47.1%）を 2.3 ポイント下回っている。

（表 4-1-3 参照）

表4-1-3 経営方針の決定に関わっている者の状況別農家数 (単位：戸、%)

区 分	神奈川県		全国	
	農家数	構成比	農家数	構成比
販売農家数	12,685	100.0	1,329,591	100.0
経営者が男性の農家	11,718	92.4	1,240,591	93.3
経営者以外で経営方針の決定に関わっている者がいる農家	5,498	43.3	596,636	44.9
男女が関わっている農家①	987	7.8	96,679	7.3
男性だけが関わっている農家	777	6.1	59,781	4.5
女性だけが関わっている農家②	3,734	29.4	440,176	33.1
経営者以外で経営方針の決定に関わっていない者がいない農家	6,220	49.0	643,955	48.4
経営者が女性の農家③	967	7.6	89,000	6.7
経営者以外で経営方針の決定に関わっている者がいる農家	384	3.0	30,612	2.3
男女が関わっている農家	77	0.6	5,410	0.4
男性だけが関わっている農家	241	1.9	20,675	1.6
女性だけが関わっている農家	66	0.5	4,527	0.3
経営者以外で経営方針の決定に関わっていない者がいない農家	583	4.6	58,388	4.4
女性が経営方針の決定に関わっている農家（=①+②+③）	5,688	44.8	625,855	47.1

（4） 農業経営組織別にみた販売農家数の状況

農業経営組織別に販売農家数をみると、「単一経営農家」は 7,838 戸（販売農家数に占める割合 71.7%）、「準単一複合経営農家」は 2,222 戸（同 20.3%）、

「複合経営農家」は 873 戸（同 8.0%）となっている。前回と比べると、それぞれ 1,317 戸（増減率 14.4%）、443 戸（同 16.6%）、58 戸（同 6.2%）減少している。（表 4-1-4 参照）

表4-1-4 農業経営組織別にみた販売農家数 （単位：戸、%）

区分	2015年		2010年		増減数	増減率
	農家数	構成比	農家数	構成比		
販売のあった農家数	10,933	100.0	12,751	100.0	△ 1,818	△ 14.3
単一経営農家	7,838	71.7	9,155	71.8	△ 1,317	△ 14.4
稲作	1,282	11.7	1,494	11.7	△ 212	△ 14.2
麦類作	1	0.0	5	0.0	△ 4	△ 80.0
雑穀・いも類・豆類	98	0.9	142	1.1	△ 44	△ 31.0
工芸農作物	120	1.1	189	1.5	△ 69	△ 36.5
露地野菜	3,143	28.7	3,604	28.3	△ 461	△ 12.8
施設野菜	307	2.8	325	2.5	△ 18	△ 5.5
果樹類	1,939	17.7	2,201	17.3	△ 262	△ 11.9
花き・花木	610	5.6	747	5.9	△ 137	△ 18.3
その他の作物	94	0.9	80	0.6	14	17.5
酪農	173	1.6	250	2.0	△ 77	△ 30.8
肉用牛	23	0.2	33	0.3	△ 10	△ 30.3
養豚	20	0.2	35	0.3	△ 15	△ 42.9
養鶏	25	0.2	44	0.3	△ 19	△ 43.2
養蚕	-	-	4	0.0	-	-
その他の畜産	3	0.0	2	0.0	1	50.0
準単一複合経営農家	2,222	20.3	2,665	20.9	△ 443	△ 16.6
複合経営農家	873	8.0	931	7.3	△ 58	△ 6.2

- ◆単一経営農家…農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が8割以上の農家
- ◆準単一複合経営農家…単一経営農家以外で、農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が6割以上8割未満の農家
- ◆複合経営農家…単一経営農家以外で、農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が6割未満（販売のなかった農家を除く）の農家

2 土地

- ◇経営耕地面積は 1,085,018a、前回から 150,977a(12.2%)減少
- ◇地目別の経営耕地面積は、田が 260,576a、畑が 608,970a、樹園地が 215,472a
- ◇販売農家の約7割が1ha 未満の経営耕地面積
- ◇耕作放棄地面積は 58,803a、県西地域の 28,402a(県全体の 48.3%)が最多

(1) 経営耕地の状況

経営耕地のある販売農家数は 12,591 戸となり、前回と比べると 2,203 戸（増減率 14.9%）減少している。

経営耕地面積は 1,085,018a となり、前回と比べると 150,977a（同 12.2%）減少している。田の面積は 260,576a、畑の面積は 608,970a、樹園地の面積は

215,472a となり、前回と比べると、それぞれ 38,380a (同 12.8%)、63,039a (同 9.4%)、49,558a (同 18.7%) 減少している。

地目別にみると、田は「稲を作った田」の面積が最も大きく 236,460a (田の面積に占める割合 90.7%) となっている。前回と比べると「何も作らなかった田」の減少率 (増減率 40.2%) が最も大きい。

畑は「普通作物を作った畑」の面積が最も大きく 520,425a (畑の面積に占める割合 85.5%) となっている。前回と比べると「牧草専用地」の減少率 (増減率 62.1%) が最も大きい。

(表 4-2-1-1、4-2-1-2、4-2-1-3 参照)

表4-2-1-1 経営耕地の状況

(単位: 戸、a、%)

区分	経営耕地のある 農家数	経営耕地 面積	田		畑 (樹園地を除く)		樹園地	
			田のある 農家数	面積	畑のある 農家数	面積	樹園地のある 農家数	面積
2015年	12,591	1,085,018	5,760	260,576	10,827	608,970	5,128	215,472
2010年	14,794	1,235,995	7,184	298,956	12,786	672,009	6,363	265,030
2005年	16,414	1,303,754	8,082	309,197	14,048	703,057	7,061	291,500
増減数								
2015~2010年	△ 2,203	△ 150,977	△ 1,424	△ 38,380	△ 1,959	△ 63,039	△ 1,235	△ 49,558
2010~2005年	△ 1,620	△ 67,759	△ 898	△ 10,241	△ 1,262	△ 31,048	△ 698	△ 26,470
増減率								
2015~2010年	△ 14.9	△ 12.2	△ 19.8	△ 12.8	△ 15.3	△ 9.4	△ 19.4	△ 18.7
2010~2005年	△ 9.9	△ 5.2	△ 11.1	△ 3.3	△ 9.0	△ 4.4	△ 9.9	△ 9.1

表4-2-1-2 田の利用状況

(単位: a、%)

区分	田		稲を作った田		稲以外の作物だけを作った田		何も作らなかった田	
	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比
2015年	260,576	100.0	236,460	90.7	12,692	4.9	11,424	4.4
2010年	298,956	100.0	262,849	87.9	16,996	5.7	19,111	6.4
2005年	309,197	100.0	268,401	86.8	21,547	7.0	19,249	6.2
増減数								
2015~2010年	△ 38,380	-	△ 26,389	-	△ 4,304	-	△ 7,687	-
2010~2005年	△ 10,241	-	△ 5,552	-	△ 4,551	-	△ 138	-
増減率								
2015~2010年	△ 12.8	-	△ 10.0	-	△ 25.3	-	△ 40.2	-
2010~2005年	△ 3.3	-	△ 2.1	-	△ 21.1	-	△ 0.7	-

表4-2-1-3 畑の利用状況

(単位: a、%)

区分	畑		普通作物を作った畑		飼料用作物だけを作った畑		牧草専用地		何も作らなかった畑	
	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比
2015年	608,970	100.0	520,425	85.5	18,139	3.0	1,695	0.3	68,711	11.3
2010年	672,009	100.0	569,792	84.8	22,553	3.4	4,471	0.7	75,193	11.2
2005年	703,057	100.0	595,689	84.7	36,402	5.2	4,336	0.6	66,630	9.5
増減数										
2015~2010年	△ 63,039	-	△ 49,367	-	△ 4,414	-	△ 2,776	-	△ 6,482	-
2010~2005年	△ 31,048	-	△ 25,897	-	△ 13,849	-	135	-	8,563	-
増減率										
2015~2010年	△ 9.4	-	△ 8.7	-	△ 19.6	-	△ 62.1	-	△ 8.6	-
2010~2005年	△ 4.4	-	△ 4.3	-	△ 38.0	-	3.1	-	12.9	-

(2) 地域別にみた経営耕地の状況

経営耕地面積を地域別にみると、湘南地域が 346,977a (県全体の経営耕地面積に占める割合 32.0%) と最も大きく、次いで県西地域の 224,200a (同 20.7%)、横浜地域の 163,921a (同 15.1%) の順となっている。

地目別では、田は湘南地域が 120,989a（県全体の田の面積に占める割合 46.4%）と最も大きく、畑でも湘南地域が 179,334a（県全体の畑の面積に占める割合 29.4%）と最も大きくなっている。樹園地では県西地域が 113,407a（県全体の樹園地の面積に占める割合 52.6%）と最も大きくなっている。

（表 4-2-2 参照）

表4-2-2 地域別にみた経営耕地の状況 （単位：a、%）

市区町村名	経営耕地		田		畑		樹園地	
	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比
神奈川県	1,085,018	100.0	260,576	100.0	608,970	100.0	215,472	100.0
横浜地域	163,921	15.1	12,620	4.8	125,034	20.5	26,267	12.2
川崎地域	34,774	3.2	1,284	0.5	22,711	3.7	10,779	5.0
相模原地域	40,479	3.7	5,495	2.1	31,035	5.1	3,949	1.8
横須賀・三浦地域	135,665	12.5	1,928	0.7	129,890	21.3	3,847	1.8
県央地域	138,710	12.8	58,838	22.6	69,496	11.4	10,376	4.8
湘南地域	346,977	32.0	120,989	46.4	179,334	29.4	46,654	21.7
県西地域	224,200	20.7	59,388	22.8	51,405	8.4	113,407	52.6

（3） 経営耕地面積規模別の販売農家数

経営耕地面積規模別に販売農家数をみると、「0.5～1.0ha」の農家数が 4,980 戸（販売農家数に占める割合 39.3%）と最も多く、次いで「0.3～0.5ha」の 3,457 戸（同 27.3%）、「1.0～1.5ha」の 2,079 戸（同 16.4%）の順となっている。

前回と比べると、ほとんどの区分で減少しているが、「3.0～5.0ha」及び「5.0ha 以上」では増減数がそれぞれ 18 戸（増減率 13.6%）、10 戸（22.7%）とわずかに増加している。

（表 4-2-3 参照）

表4-2-3 経営耕地面積規模別の販売農家数 （単位：戸、%）

区分	2015年		2010年		増減数	増減率
	農家数	構成比	農家数	構成比		
販売農家数	12,685	100.0	14,863	100.0	△ 2,178	△ 14.7
経営耕地なし	94	0.7	69	0.5	25	36.2
0.3ha未満	475	3.7	547	3.7	△ 72	△ 13.2
0.3～0.5	3,457	27.3	4,063	27.3	△ 606	△ 14.9
0.5～1.0	4,980	39.3	6,092	41.0	△ 1,112	△ 18.3
1.0～1.5	2,079	16.4	2,398	16.1	△ 319	△ 13.3
1.5～2.0	900	7.1	1,014	6.8	△ 114	△ 11.2
2.0～3.0	496	3.9	504	3.4	△ 8	△ 1.6
3.0～5.0	150	1.2	132	0.9	18	13.6
5.0ha以上	54	0.4	44	0.3	10	22.7

（4） 販売農家あたりの経営耕地面積

経営耕地のある販売農家 1 戸あたりの経営耕地面積をみると 86.2a となり、前回より 2.6a（増減率 3.1%）増加している。

地域別にみると、横須賀・三浦地域が 119.1a と最も大きく、次いで湘南地域の

90.5a、県央地域の84.1aの順になっている。

(表 4-2-4 参照)

表4-2-4 販売農家当たりの経営耕地面積 (単位：a、%)

区分	2015年	2010年	増減数	増減率
神奈川県	86.2	83.5	2.6	3.1
横浜地域	81.7	78.5	3.2	4.1
川崎地域	58.6	55.8	2.8	5.0
相模原地域	72.7	70.3	2.3	3.3
横須賀・三浦地域	119.1	115.1	4.0	3.5
県央地域	84.1	81.9	2.1	2.6
湘南地域	90.5	89.2	1.4	1.6
県西地域	79.8	77.5	2.3	2.9

(5) 耕作放棄地

耕作放棄地のある販売農家数は県全体で 2,302 戸となり、耕作放棄地面積は 58,803a となっている。前回と比べると、耕作放棄地のある販売農家数は 42 戸 (増減率 1.9%) 増加し、耕作放棄地面積は 1,531a (同 2.7%) 増加している。

地域別にみると、県西地域の耕作放棄地面積が 28,402a (県全体の耕作放棄地面積に占める割合 48.3%) と最も大きくなっている。前回と比べると、湘南地域の耕作放棄地面積が 1,820a (増減率 10.7%) 増加している一方で、県央地域では 1,009a (同 23.3%) 減少している。

(表 4-2-5 参照)

表4-2-5 耕作放棄地のある販売農家数及び面積 (単位：戸、a、%)

区分	耕作放棄地のある農家数				耕作放棄地面積					
	2015年	2010年	増減数	増減率	2015年		2010年		増減数	増減率
					面積	構成比	面積	構成比		
神奈川県	2,302	2,260	42	1.9	58,803	100.0	57,272	100.0	1,531	2.7
横浜地域	188	140	48	34.3	3,627	6.2	3,109	5.4	518	16.7
川崎地域	29	35	△ 6	△ 17.1	471	0.8	749	1.3	△ 278	△ 37.1
相模原地域	77	97	△ 20	△ 20.6	2,411	4.1	2,053	3.6	358	17.4
横須賀・三浦地域	93	97	△ 4	△ 4.1	1,764	3.0	1,786	3.1	△ 22	△ 1.2
県央地域	190	243	△ 53	△ 21.8	3,313	5.6	4,322	7.5	△ 1,009	△ 23.3
湘南地域	800	732	68	9.3	18,783	31.9	16,963	29.6	1,820	10.7
県西地域	922	916	6	0.7	28,402	48.3	28,290	49.4	112	0.4

3 農産物

◇類別の作付(栽培)農家数、面積ともに「野菜類」が最多

(1) 販売目的で作付け(栽培)した作物の類別作付(栽培)農家数と面積

販売目的で作物を作付け(栽培)した販売農家数は 10,902 戸となり、前回と比べると 476 戸 (増減率 4.2%) 減少している。また、作付(栽培)面積は 931,622a となり、前回と比べると 96,256a (同 9.4%) 減少している。

類別に作付(栽培)農家数をみると、「野菜類」が 6,889 戸と最も多く、次いで

「果樹類」の4,368戸、「稲」の3,704戸の順となっている。

作付（栽培）面積でも農家数と同じく、「野菜類」が467,680a（作付（栽培）面積に占める割合50.2%）と最も大きく、次いで「稲」の182,986a（同19.6%）、「果樹類」の177,468a（同19.0%）の順となっている。

（表4-3-1 参照）

表4-3-1 販売目的で作付け（栽培）した作物の類別作付（栽培）農家数及び面積（単位：戸、a、%）

区分	作付（栽培）農家数				作付（栽培）面積					
	2015年	2010年	増減数	増減率	2015年		2010年		増減数	増減率
					面積	構成比	面積	構成比		
計	10,902	11,378	△ 476	△ 4.2	931,622	100.0	1,027,878	100.0	△ 96,256	△ 9.4
稲	3,704	4,785	△ 1,081	△ 22.6	182,986	19.6	212,770	20.7	△ 29,784	△ 14.0
麦類	112	193	△ 81	△ 42.0	2,376	0.3	2,911	0.3	△ 535	△ 18.4
雑穀	82	196	△ 114	△ 58.2	1,517	0.2	1,552	0.2	△ 35	△ 2.3
いも類	2,752	4,046	△ 1,294	△ 32.0	20,527	2.2	30,574	3.0	△ 10,047	△ 32.9
豆類	903	1,368	△ 465	△ 34.0	8,350	0.9	10,155	1.0	△ 1,805	△ 17.8
工芸農作物	338	410	△ 72	△ 17.6	10,596	1.1	10,823	1.1	△ 227	△ 2.1
野菜類	6,889	8,405	△ 1,516	△ 18.0	467,680	50.2	486,827	47.4	△ 19,147	△ 3.9
露地	6,755	8,181	△ 1,426	△ 17.4	451,014	48.4	466,239	45.4	△ 15,225	△ 3.3
施設	1,011	1,426	△ 415	△ 29.1	16,666	1.8	20,588	2.0	△ 3,922	△ 19.0
花き類・花木	1,040	1,329	△ 289	△ 21.7	47,641	5.1	55,448	5.4	△ 7,807	△ 14.1
露地	766	1,021	△ 255	△ 25.0	39,956	4.3	47,153	4.6	△ 7,197	△ 15.3
施設	476	590	△ 114	△ 19.3	7,685	0.8	8,295	0.8	△ 610	△ 7.4
果樹類	4,368	4,938	△ 570	△ 11.5	177,468	19.0	203,837	19.8	△ 26,369	△ 12.9
露地	4,343	4,921	△ 578	△ 11.7	176,393	18.9	202,444	19.7	△ 26,051	△ 12.9
施設	122	100	22	22.0	1,075	0.1	1,393	0.1	△ 318	△ 22.8
その他の作物	309	492	△ 183	△ 37.2	12,481	1.3	12,981	1.3	△ 500	△ 3.9
露地	253	468	△ 215	△ 45.9	11,642	1.2	12,795	1.2	△ 1,153	△ 9.0
施設	100	32	68	212.5	839	0.1	186	0.0	653	351.1

※作付（栽培）農家数については、1戸で複数の種類を作付け（栽培）している農家もいるため、類別の合計は計と一致しない。

（2） 家畜を販売目的で飼養している経営体数と飼養頭羽数（農業経営体）

販売目的で家畜を飼養している農業経営体数を畜種別にみると、「乳用牛」が199経営体と最も多く、次いで「肉用牛」の130経営体、「採卵鶏」の80経営体の順となっている。前回と比べると、「肉用牛」を飼養している経営体が14経営体（増減率12.1%）増加しているが、他の畜種では全て減少しており、中でも「乳用牛」が135経営体（同40.4%）と最も多く減少している。

飼養頭羽数を畜種別にみると、「乳用牛」が6,776頭、「肉用牛」が4,263頭となっており、前回と比べると、それぞれ3,452頭（増減率33.8%）、132頭（同3.0%）減少している。一方、「豚」は146,634頭となり、前回と比べると72,535頭（同97.9%）増加しており、「採卵鶏」も1,888,087羽となり、前回と比べると233,122羽（同14.1%）増加している。

（表4-3-2 参照）

表4-3-2 家畜の飼養状況（農業経営体）（単位：経営体、頭、羽、%）

区分	飼養経営体数				飼養頭羽数			
	2015年	2010年	増減数	増減率	2015年	2010年	増減数	増減率
乳用牛	199	334	△ 135	△ 40.4	6,776	10,228	△ 3,452	△ 33.8
肉用牛	130	116	14	12.1	4,263	4,395	△ 132	△ 3.0
豚	46	57	△ 11	△ 19.3	146,634	74,099	72,535	97.9
採卵鶏	80	87	△ 7	△ 8.0	1,888,087	1,654,965	233,122	14.1

(3) 農薬の使用記録の作成

農薬を使用したときに、使用した年月日、場所、農薬名、量等の使用記録を作成している販売農家は 3,907 戸となり、前回と比べると 1,696 戸（増減率 30.3%）減少している。

（表 4-3-3 参照）

2015年	2010年	増減数	増減率
3,907	5,603	△ 1,696	△ 30.3

(4) 堆肥の使用量

調査期日前1年間に堆肥（有機物を微生物によって完全に分解した肥料）を使用した販売農家数は 3,779 戸となり、使用量は 47,502 t となっている。前回と比べると、農家数は 2,657 戸（増減率 41.3%）、使用量は 15,413 t（同 24.5%）減少している。農家 1 戸あたりの使用量は 12.6 t となり、前回と比べると、2.8 t（同 28.6%）増加している。

（表 4-3-4 参照）

区分	農家数	使用量	農家1戸あたりの使用量
2015年	3,779	47,502	12.6
2010年	6,436	62,915	9.8
増減数	△ 2,657	△ 15,413	2.8
増減率	△ 41.3	△ 24.5	28.6

(5) 有機農業による作付のべ面積

調査期日前1年間に、有機農業による作付けを行った販売農家数は 1,272 戸となり、前回と比べると 509 戸（増減率 28.6%）減少している。有機農業による作付のべ面積は 70,349a となり、前回と比べると 24,151a（同 25.6%）減少している。

（表 4-3-5 参照）

区分	農家数	面積
2015年	1,272	70,349
2010年	1,781	94,500
増減数	△ 509	△ 24,151
増減率	△ 28.6	△ 25.6

◆有機農業とは

化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと並びに遺伝子組み換え技術を利用しないことを基本として、農業生産に由来する環境への負担をできる限り低減した農業生産の方法を用いて行われる農業

4 農産物販売金額の状況

◇販売金額規模別では、「50万円未満」の販売農家が27.5%で最多

◇販売金額1位の部門別では、「露地野菜」が約4割

(1) 農産物販売金額規模別の販売農家数

販売金額規模別に販売農家数をみると、「50万円未満」の農家数が3,489戸（販売農家数に占める割合27.5%）と最も多く、次いで「100～500万円未満」の3,326戸（同26.2%）、「販売なし」の1,752戸（同13.8%）の順になっている。

前回と比べると、「100～500万円未満」の農家数が590戸（増減率15.1%）と最も大きく減少しており、次いで「50～100万円未満」の農家数が436戸（同20.5%）減少している。

（表4-4-1参照）

表4-4-1 農産物販売金額規模別販売農家数 (単位：戸、%)

区分	2015年		2010年		増減数	増減率
	農家数	構成比	農家数	構成比		
販売農家数	12,685	100.0	14,863	100.0	△ 2,178	△ 14.7
販売なし	1,752	13.8	2,112	14.2	△ 360	△ 17.0
50万円未満	3,489	27.5	3,858	26.0	△ 369	△ 9.6
50～100万円	1,690	13.3	2,126	14.3	△ 436	△ 20.5
100～500万円	3,326	26.2	3,916	26.3	△ 590	△ 15.1
500～1,000万円	1,075	8.5	1,285	8.6	△ 210	△ 16.3
1,000～3,000万円	1,156	9.1	1,343	9.0	△ 187	△ 13.9
3,000～5,000万円	148	1.2	157	1.1	△ 9	△ 5.7
5,000万～1億円	39	0.3	46	0.3	△ 7	△ 15.2
1億円以上	10	0.1	20	0.1	△ 10	△ 50.0

(2) 農産物販売金額1位の部門別販売農家数

農産物販売金額1位の部門別にみると、「露地野菜」が4,370戸（販売農家数に占める割合40.0%）と最も多く、次いで「果樹類」の2,549戸（同23.3%）、「稲作」の1,802戸（同16.5%）の順となっている。

前回と比べると、ほぼ全ての部門で減少しているが、中でも「露地野菜」が690戸（増減率13.6%）と最も大きく減少し、次いで「果樹類」が338戸（同11.7%）、「稲作」が281戸（同13.5%）減少している。

（表4-4-2参照）

表4-4-2 農産物販売金額1位の部門別販売農家数

(単位：戸、%)

区分	2015年		2010年		増減数	増減率
	農家数	構成比	農家数	構成比		
販売のあった農家数	10,933	100.0	12,751	100.0	△ 1,818	△ 14.3
稲作	1,802	16.5	2,083	16.3	△ 281	△ 13.5
麦類作	5	0.0	7	0.1	△ 2	△ 28.6
雑穀・いも類・豆類	259	2.4	353	2.8	△ 94	△ 26.6
工芸農作物	159	1.5	229	1.8	△ 70	△ 30.6
露地野菜	4,370	40.0	5,060	39.7	△ 690	△ 13.6
施設野菜	628	5.7	726	5.7	△ 98	△ 13.5
果樹類	2,549	23.3	2,887	22.6	△ 338	△ 11.7
花き・花木	759	6.9	896	7.0	△ 137	△ 15.3
その他の作物	127	1.2	97	0.8	30	30.9
酪農	185	1.7	267	2.1	△ 82	△ 30.7
肉用牛	28	0.3	38	0.3	△ 10	△ 26.3
養豚	24	0.2	43	0.3	△ 19	△ 44.2
養鶏	32	0.3	55	0.4	△ 23	△ 41.8
養蚕	-	-	6	0.0	-	-
その他の畜産	6	0.1	4	0.0	2	50.0

(3) 農産物の売上1位の出荷先別にみた販売農家数

農産物の売上1位の出荷先別に販売農家数をみると、農協が4,156戸（販売のあった農家数に占める割合38.0%）と最も多く、次いで消費者に直接販売が3,257戸（同29.8%）、卸売市場が1,598戸（同14.6%）の順となっている。

(表4-4-3参照)

表4-4-3 農産物の売上1位の出荷先別にみた販売農家数

(単位：戸、%)

区分	2015年		2010年		増減数	増減率
	農家数	構成比	農家数	構成比		
販売のあった農家数	10,933	100.0	12,751	100.0	△ 1,818	△ 14.3
農協	4,156	38.0	4,910	38.5	△ 754	△ 15.4
農協以外の集出荷団体	606	5.5	797	6.3	△ 191	△ 24.0
卸売市場	1,598	14.6	2,055	16.1	△ 457	△ 22.2
小売業者	692	6.3	700	5.5	△ 8	△ 1.1
食品製造業・外食産業	81	0.7	77	0.6	4	5.2
消費者に直接販売	3,257	29.8	3,895	30.5	△ 638	△ 16.4
その他	543	5.0	317	2.5	226	71.3

5 労働力

◇農業就業人口(主として自営農業に従事した人)の平均年齢は64.4歳

◇農業後継者のいる農家は6,626戸、前回から3,024戸(31.3%)減少

(1) 農業従事者

販売農家の農業従事者は、33,458人となり、前回と比べると9,238人(増減率21.6%)減少している。

年齢階層別にみると、「60～69 歳」が 8,156 人（農業従事者に占める割合 24.4%）と最も多く、次いで「50～59 歳」が 5,644 人（同 16.9%）、「40～49 歳」が 3,788 人（同 11.3%）の順となっている。前回と比べると、「85 歳以上」を除く各層で減少しており、特に「15～29 歳」と「30～39 歳」の年齢階層で大きく減少している（増減率 31.7%、31.0%の減少）。

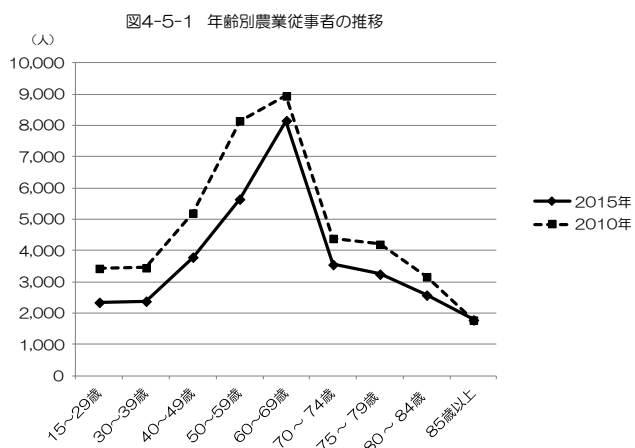
（表 4-5-1-1、表 4-5-1-2、図 4-5-1 参照）

表4-5-1-1 農業従事者 (単位：人、%)

区分	農業従事者	農業就業人口	
		農業就業人口	基幹的農業従事者
2015年	33,458	24,195	20,302
2010年	42,696	28,331	24,046
2005年	48,758	35,604	27,063
増減数			
2015～2010年	△ 9,238	△ 4,136	△ 3,744
2010～2005年	△ 6,062	△ 7,273	△ 3,017
増減率			
2015～2010年	△ 21.6	△ 14.6	△ 15.6
2010～2005年	△ 12.4	△ 20.4	△ 11.1

表4-5-1-2 年齢階層別の農業従事者 (単位：人、%)

区分	2015年		2010年		増減数	増減率
	人数	構成比	人数	構成比		
農業従事者	33,458	100.0	42,696	100.0	△ 9,238	△ 21.6
15～29歳	2,342	7.0	3,428	8.0	△ 1,086	△ 31.7
30～39歳	2,379	7.1	3,450	8.1	△ 1,071	△ 31.0
40～49歳	3,788	11.3	5,199	12.2	△ 1,411	△ 27.1
50～59歳	5,644	16.9	8,152	19.1	△ 2,508	△ 30.8
60～69歳	8,156	24.4	8,947	21.0	△ 791	△ 8.8
70～74歳	3,551	10.6	4,387	10.3	△ 836	△ 19.1
75～79歳	3,244	9.7	4,200	9.8	△ 956	△ 22.8
80～84歳	2,574	7.7	3,158	7.4	△ 584	△ 18.5
85歳以上	1,780	5.3	1,775	4.2	5	0.3



- ◆ 農業従事者…15歳以上の世帯員のうち、調査期日前1年間に自営農業に従事した者
- ◆ 農業就業人口…農業従事者のうち調査期日前1年間に自営農業のみに従事した者、農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち自営農業が主の者の人口
- ◆ 基幹的農業従事者…農業就業人口（自営農業に主として従事した世帯員）のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者

(2) 農業就業人口

販売農家の農業就業人口は、24,195人となり、前回と比べると4,136人（増減率14.6%）減少している。

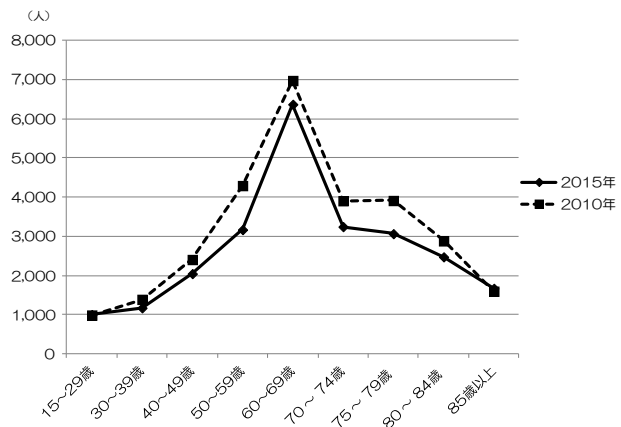
年齢階層別にみると、「60～69歳」が6,367人（農業就業人口に占める割合26.3%）と最も多く、次いで「70～74歳」が3,243人（同13.4%）、「50～59歳」が3,167人（同13.1%）の順となっている。前回と比べると、「15～29歳未満」及び「85歳以上」を除く各層で減少しており、特に「50～59歳」と「75～79歳」の年齢階層で大きく減少している（増減率26.2%、21.7%の減少）。

（表4-5-2、図4-5-2参照）

表4-5-2 年齢階層別の農業就業人口 (単位：人、%)

区分	2015年		2010年		増減数	増減率
	人数	構成比	人数	構成比		
農業就業人口（合計）	24,195	100.0	28,331	100.0	△ 4,136	△ 14.6
15～29歳	999	4.1	986	3.5	13	1.3
30～39歳	1,171	4.8	1,387	4.9	△ 216	△ 15.6
40～49歳	2,044	8.4	2,404	8.5	△ 360	△ 15.0
50～59歳	3,167	13.1	4,291	15.1	△ 1,124	△ 26.2
60～69歳	6,367	26.3	6,973	24.6	△ 606	△ 8.7
70～74歳	3,243	13.4	3,905	13.8	△ 662	△ 17.0
75～79歳	3,063	12.7	3,910	13.8	△ 847	△ 21.7
80～84歳	2,472	10.2	2,880	10.2	△ 408	△ 14.2
85歳以上	1,669	6.9	1,595	5.6	74	4.6

図4-5-2 年齢別農業就業人口の推移



(3) 基幹的農業従事者

販売農家の基幹的農業従事者は、20,302 人となり、前回と比べると 3,744 人（増減率 15.6%）減少している。

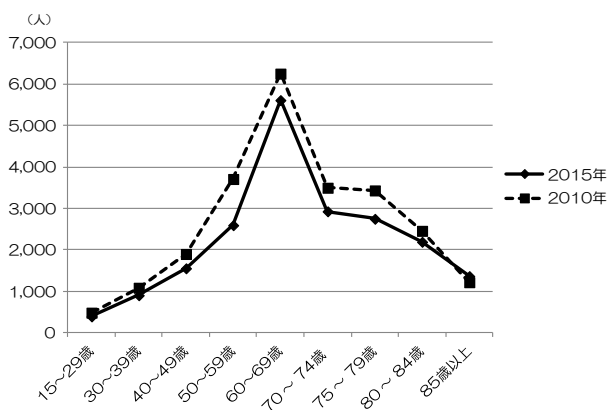
年齢階層別にみると、「60～69 歳」が 5,613 人（基幹的農業従事者に占める割合 27.6%）と最も多く、次いで「70～74 歳」が 2,930 人（同 14.4%）、「75～79 歳」が 2,749 人（同 13.5%）の順となっている。前回と比べると、「85 歳以上」を除く各層で減少しており、特に「50～59 歳」と「75～79 歳」の年齢階層で大きく減少している（増減率 30.1%、19.9%の減少）。

（表 4-5-3、図 4-5-3 参照）

表4-5-3 年齢階層別の基幹的農業従事者人数 (単位：人、%)

区分	2015年		2010年		増減数	増減率
	人数	構成比	人数	構成比		
基幹的農業従事者人数	20,302	100.0	24,046	100.0	△ 3,744	△ 15.6
15～29歳	394	1.9	485	2.0	△ 91	△ 18.8
30～39歳	905	4.5	1,086	4.5	△ 181	△ 16.7
40～49歳	1,555	7.7	1,901	7.9	△ 346	△ 18.2
50～59歳	2,595	12.8	3,710	15.4	△ 1,115	△ 30.1
60～69歳	5,613	27.6	6,252	26.0	△ 639	△ 10.2
70～74歳	2,930	14.4	3,499	14.6	△ 569	△ 16.3
75～79歳	2,749	13.5	3,434	14.3	△ 685	△ 19.9
80～84歳	2,194	10.8	2,459	10.2	△ 265	△ 10.8
85歳以上	1,367	6.7	1,220	5.1	147	12.0

図4-5-3 年齢別基幹的農業従事者の推移



(4) 平均年齢

農業従事者の平均年齢は 60.2 歳で、前回と比べると 1.5 歳上昇している。農業就業人口の平均年齢は 64.4 歳で、前回から変動しなかった。基幹的農業従事者の平均年齢は 66.0 歳で、前回と比べると 0.8 歳上昇している。

全国と比べると、農業従事者の平均年齢は 0.2 歳上回っているが、農業就業人口の平均年齢は 2.0 歳、基幹的農業従事者の平均年齢は 1.0 歳それぞれ下回っている。

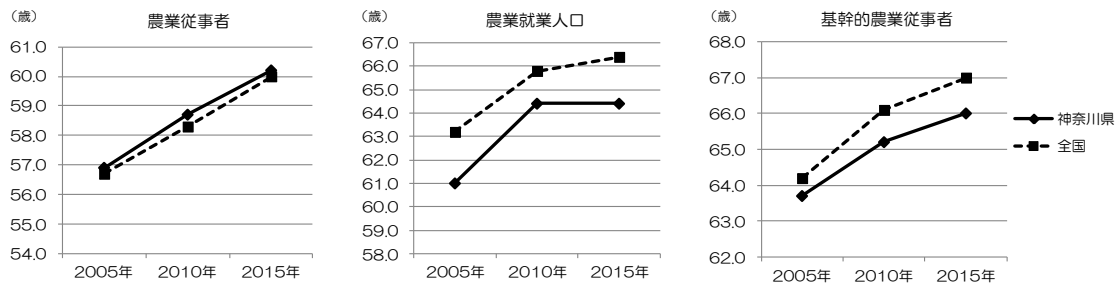
（表 4-5-4、図 4-5-4 参照）

表4-5-4 農業従事者の平均年齢

(単位：歳)

区分	神奈川県			全国		
	農業従事者	農業就業人口	基幹的 農業従事者	農業従事者	農業就業人口	基幹的 農業従事者
2015年	60.2	64.4	66.0	60.0	66.4	67.0
2010年	58.7	64.4	65.2	58.3	65.8	66.1
2005年	56.9	61.0	63.7	56.7	63.2	64.2
増減数						
2015年～2010年	1.5	0.0	0.8	1.7	0.6	0.9
2010年～2005年	1.8	3.4	1.5	1.6	2.6	1.9

図4-5-4 農業従事者の平均年齢の推移



(5) 農業後継者

農業後継者の状況を見ると、「同居農業後継者がいる」が 4,372 戸（販売農家数に占める割合 34.5%）となり、前回と比べると 3,023 戸（増減率 40.9%）減少している。

また、「同居農業後継者がいない」は 8,313 戸（販売農家数に占める割合 65.5%）で、前回と比べると 845 戸（増減率 11.3%）増加している。

「同居農業後継者がいる」と「他出農業後継者がいる」を合計した後継者がいる販売農家数は 6,626 戸（販売農家数に占める割合 52.2%）となり、前回と比べると 12.7 ポイント低下している。

(表 4-5-5 参照)

表4-5-5 後継者の有無別販売農家数

(単位：戸、%)

区分	2015年		2010年		増減数	増減率
	農家数	構成比	農家数	構成比		
販売農家数	12,685	100.0	14,863	100.0	△ 2,178	△ 14.7
同居農業後継者がいる	4,372	34.5	7,395	49.8	△ 3,023	△ 40.9
同居農業後継者がいない	8,313	65.5	7,468	50.2	845	11.3
他出農業後継者がいる	2,254	17.8	2,255	15.2	△ 1	△ 0.0
他出農業後継者がいない	6,059	47.8	5,213	35.1	846	16.2

◆農業後継者…15歳以上の者で、次の代でその家の農業経営を継承する者（予定者を含む）

第5章 林業経営体

1 保有山林面積規模別林業経営体数

◇林業経営体数は、326 経営体

◇「3～5ha 未満」の山林を保有する経営体が約3割

林業経営体数は 326 経営体となり、前回と比べると 95 経営体（増減率 22.6%）減少している。保有山林面積規模別に林業経営体数をみると、「3～5ha 未満」が 86 経営体（林業経営体数に占める割合 26.4%）と最も多く、次いで「5～10ha 未満」の 67 経営体（同 20.6%）、「10～20ha 未満」の 62 経営体（同 19.0%）の順となっている。

林業経営体の保有山林面積は 2,843,601a となり、前回と比べると 583,253a（増減率 17.0%）減少している。保有山林面積規模別では、「1,000ha 以上」が 1,912,346a（保有山林面積に占める割合 67.3%）と最も大きく、次いで「100～500ha 未満」の 360,403a（同 12.7%）、「500～1,000ha 未満」の 203,830a（同 7.2%）の順となっている。

（表 5-1-1 参照）

表5-1-1 保有山林面積規模別の林業経営体数及び保有山林面積 （単位：経営体、a、%）

区分	林業経営体数						保有山林面積					
	2015年		2010年		増減数	増減率	2015年		2010年		増減数	増減率
	経営体数	構成比	経営体数	構成比			面積	構成比	面積	構成比		
林業経営体	326	100.0	421	100.0	△ 95	△ 22.6	2,843,601	100.0	3,426,854	100.0	△ 583,253	△ 17.0
保有山林なし	20	6.1	14	3.3	6	42.9	-	-	-	-	-	-
3ha未満	17	5.2	5	1.2	12	240.0	1,889	0.1	464	0.0	1,425	307.1
3～5ha	86	26.4	120	28.5	△ 34	△ 28.3	30,143	1.1	43,115	1.3	△ 12,972	△ 30.1
5～10ha	67	20.6	110	26.1	△ 43	△ 39.1	43,716	1.5	75,333	2.2	△ 31,617	△ 42.0
10～20ha	62	19.0	80	19.0	△ 18	△ 22.5	82,409	2.9	104,767	3.1	△ 22,358	△ 21.3
20～30ha	11	3.4	19	4.5	△ 8	△ 42.1	25,961	0.9	43,981	1.3	△ 18,020	△ 41.0
30～50ha	21	6.4	27	6.4	△ 6	△ 22.2	76,225	2.7	97,667	2.9	△ 21,442	△ 22.0
50～100ha	16	4.9	20	4.8	△ 4	△ 20.0	106,679	3.8	139,080	4.1	△ 32,401	△ 23.3
100～500ha	20	6.1	22	5.2	△ 2	△ 9.1	360,403	12.7	387,821	11.3	△ 27,418	△ 7.1
500～1,000ha	3	0.9	-	-	-	-	203,830	7.2	-	-	-	-
1,000ha以上	3	0.9	4	1.0	△ 1	△ 25.0	1,912,346	67.3	2,534,626	74.0	△ 622,280	△ 24.6

2 林産物販売金額規模別林業経営体数

◇「販売なし」の経営体が 290 経営体 (89.0%) で最多

林産物販売金額規模別に林業経営体をみると、「販売なし」が 290 経営体（林業経営体数に占める割合 89.0%）と最も多く、次いで「50 万円未満」の 22 経営体（同 6.7%）、「100～500 万円未満」の 10 経営体（同 3.1%）の順となっている。

前回と比べると、「50万円未満」の経営体数が9経営体（増減率69.2%）増加している。

（表5-1-2参照）

表5-1-2 林産物販売金額規模別の林業経営体数 （単位：経営体、%）

区分	2015年		2010年		増減数	増減率
	経営体数	構成比	経営体数	構成比		
林業経営体	326	100.0	421	100.0	△ 95	△ 22.6
販売なし	290	89.0	391	92.9	△ 101	△ 25.8
50万円未満	22	6.7	13	3.1	9	69.2
50～100万円	-	-	3	0.7	-	-
100～500万円	10	3.1	10	2.4	0	0.0
500～1,000万円	1	0.3	2	0.5	△ 1	△ 50.0
1,000～3,000万円	1	0.3	1	0.2	0	0.0
3,000万円以上	2	0.6	1	0.2	1	100.0

第6章 他都道府県（上位10都道府県）との比較

1 農林業経営体数

(単位：経営体、%)

順位	都道府県	農林業経営体	構成比
-	全国	1,404,488	100.0
1	茨城県	58,129	4.1
2	新潟県	56,826	4.0
3	長野県	54,885	3.9
4	福島県	53,623	3.8
5	兵庫県	48,436	3.4
6	岩手県	48,235	3.4
7	千葉県	45,038	3.2
8	北海道	44,503	3.2
9	熊本県	42,149	3.0
10	栃木県	40,839	2.9
44	神奈川県	13,974	1.0

2 農業経営体数

(単位：経営体、%)

順位	都道府県	農業経営体	構成比
-	全国	1,377,266	100.0
1	茨城県	57,989	4.2
2	新潟県	56,114	4.1
3	長野県	53,808	3.9
4	福島県	53,157	3.9
5	兵庫県	47,895	3.5
6	岩手県	46,993	3.4
7	千葉県	44,985	3.3
8	熊本県	41,482	3.0
9	北海道	40,714	3.0
10	栃木県	40,473	2.9
43	神奈川県	13,809	1.0

3 林業経営体数

(単位：経営体、%)

順位	都道府県	林業経営体	構成比
-	全国	87,284	100.0
1	北海道	7,940	9.1
2	岩手県	4,979	5.7
3	岐阜県	4,662	5.3
4	広島県	4,487	5.1
5	宮崎県	3,230	3.7
6	大分県	3,221	3.7
7	岡山県	3,004	3.4
8	熊本県	2,754	3.2
9	長野県	2,745	3.1
10	秋田県	2,726	3.1
43	神奈川県	326	0.4

4 販売農家数

(単位：戸、%)

順位	都道府県	販売農家数	構成比
-	全国	1,329,591	100.0
1	茨城県	57,239	4.3
2	新潟県	54,409	4.1
3	福島県	52,270	3.9
4	長野県	51,777	3.9
5	兵庫県	46,831	3.5
6	岩手県	45,254	3.4
7	千葉県	44,039	3.3
8	熊本県	40,103	3.0
9	栃木県	39,810	3.0
10	北海道	38,086	2.9
45	神奈川県	12,685	1.0

5 販売農家あたりの経営耕地面積

(単位：ha)

順位	都道府県	経営耕地面積
-	全国	2.2
1	北海道	23.8
2	秋田県	2.8
3	青森県	2.7
4	山形県	2.6
5	栃木県	2.3
6	新潟県	2.3
7	宮城県	2.2
8	岩手県	2.0
9	茨城県	1.9
10	鹿児島県	1.8
43	神奈川県	0.9

第7章 主な項目別上位 10 市町村

1 農林業経営体数

(単位：経営体、%)

順位	市区町村	農林業経営体	構成比
-	神奈川県	13,974	100.0
1	横浜市	2,230	16.0
2	小田原市	1,278	9.1
3	平塚市	1,115	8.0
4	厚木市	790	5.7
5	秦野市	767	5.5
6	藤沢市	728	5.2
7	三浦市	720	5.2
8	相模原市	683	4.9
9	川崎市	681	4.9
10	伊勢原市	674	4.8

2 農業経営体数

(単位：経営体、%)

順位	市区町村	農業経営体	構成比
-	神奈川県	13,809	100.0
1	横浜市	2,205	16.0
2	小田原市	1,271	9.2
3	平塚市	1,115	8.1
4	厚木市	787	5.7
5	秦野市	754	5.5
6	三浦市	720	5.2
7	藤沢市	718	5.2
8	川崎市	672	4.9
9	伊勢原市	665	4.8
10	相模原市	653	4.7

3 林業経営体数

(単位：経営体、%)

順位	市区町村	林業経営体	構成比
-	神奈川県	326	100.0
1	南足柄市	53	16.3
2	相模原市	50	15.3
3	横浜市	42	12.9
4	山北町	29	8.9
5	秦野市	27	8.3
6	小田原市	24	7.4
7	伊勢原市	15	4.6
8	清川村	13	4.0
9	藤沢市	12	3.7
10	川崎市	10	3.1
10	厚木市	10	3.1

4 販売農家数

(単位：戸、%)

順位	市区町村	販売農家	構成比
-	神奈川県	12,685	100.0
1	横浜市	2,029	16.0
2	小田原市	1,180	9.3
3	平塚市	1,081	8.5
4	秦野市	723	5.7
5	三浦市	712	5.6
6	藤沢市	672	5.3
7	厚木市	661	5.2
8	伊勢原市	641	5.1
9	川崎市	595	4.7
10	相模原市	563	4.4

5 野菜類の作付面積上位 10 市町村（販売農家）

だいこん (単位：a)

順位	市町村	面積	構成比
-	神奈川県	85,639	100.0
1	三浦市	60,306	70.4
2	横浜市	7,290	8.5
3	横須賀市	2,869	3.4
4	藤沢市	2,258	2.6
5	秦野市	1,542	1.8
6	茅ヶ崎市	1,491	1.7
7	川崎市	1,470	1.7
8	相模原市	1,129	1.3
9	平塚市	904	1.1
10	厚木市	854	1.0

さといも (単位：a)

順位	市町村	面積	構成比
-	神奈川県	16,948	100.0
1	横浜市	4,572	27.0
2	平塚市	2,255	13.3
3	秦野市	1,313	7.7
4	藤沢市	1,270	7.5
5	相模原市	1,061	6.3
6	伊勢原市	940	5.5
7	川崎市	893	5.3
8	厚木市	627	3.7
9	茅ヶ崎市	433	2.6
10	小田原市	421	2.5

はくさい (単位：a)

順位	市町村	面積	構成比
-	神奈川県	12,117	100.0
1	横浜市	3,231	26.7
2	平塚市	939	7.7
3	藤沢市	913	7.5
4	川崎市	803	6.6
5	秦野市	754	6.2
6	相模原市	753	6.2
7	三浦市	559	4.6
8	厚木市	507	4.2
9	海老名市	451	3.7
10	大和市	405	3.3

キャベツ (単位：a)

順位	市町村	面積	構成比
-	神奈川県	122,375	100.0
1	三浦市	63,071	51.5
2	横須賀市	26,953	22.0
3	横浜市	15,940	13.0
4	藤沢市	4,247	3.5
5	海老名市	1,553	1.3
6	秦野市	1,426	1.2
7	川崎市	1,169	1.0
8	伊勢原市	1,125	0.9
9	平塚市	1,097	0.9
10	相模原市	912	0.7

ほうれんそう (単位：a)

順位	市町村	面積	構成比
-	神奈川県	28,908	100.0
1	横浜市	10,877	37.6
2	茅ヶ崎市	3,820	13.2
3	藤沢市	2,529	8.7
4	平塚市	1,923	6.7
5	伊勢原市	1,410	4.9
6	秦野市	1,329	4.6
7	川崎市	1,174	4.1
8	相模原市	1,157	4.0
9	小田原市	673	2.3
10	海老名市	590	2.0

ねぎ (単位：a)

順位	市町村	面積	構成比
-	神奈川県	18,305	100.0
1	横浜市	4,533	24.8
2	平塚市	2,483	13.6
3	藤沢市	1,145	6.3
4	秦野市	1,135	6.2
5	川崎市	939	5.1
6	三浦市	929	5.1
7	伊勢原市	798	4.4
8	小田原市	777	4.2
9	茅ヶ崎市	759	4.1
10	相模原市	712	3.9

ブロッコリー (単位：a)

順位	市町村	面積	構成比
-	神奈川県	20,200	100.0
1	横浜市	5,971	29.6
2	藤沢市	1,623	8.0
3	川崎市	1,501	7.4
4	平塚市	1,418	7.0
5	綾瀬市	1,339	6.6
6	横須賀市	1,333	6.6
7	秦野市	1,054	5.2
8	相模原市	793	3.9
9	三浦市	743	3.7
10	伊勢原市	731	3.6

きゅうり (単位：a)

順位	市町村	面積	構成比
-	神奈川県	12,316	100.0
1	横浜市	2,668	21.7
2	藤沢市	1,685	13.7
3	平塚市	1,581	12.8
4	川崎市	870	7.1
5	秦野市	648	5.3
6	大磯町	490	4.0
7	相模原市	470	3.8
8	横須賀市	425	3.5
9	伊勢原市	418	3.4
10	小田原市	399	3.2

トマト (単位：a)

順位	市町村	面積	構成比
-	神奈川県	16,015	100.0
1	横浜市	4,472	27.9
2	藤沢市	2,627	16.4
3	川崎市	1,202	7.5
4	平塚市	886	5.5
5	茅ヶ崎市	877	5.5
6	海老名市	724	4.5
7	厚木市	677	4.2
8	相模原市	628	3.9
9	秦野市	562	3.5
10	横須賀市	561	3.5

ずいか (単位：a)

順位	市町村	面積	構成比
-	神奈川県	20,263	100.0
1	三浦市	17,284	85.3
2	横須賀市	787	3.9
3	横浜市	703	3.5
4	藤沢市	294	1.5
5	相模原市	148	0.7
6	川崎市	108	0.5
7	厚木市	86	0.4
8	綾瀬市	86	0.4
9	平塚市	79	0.4
10	茅ヶ崎市	67	0.3

6 果樹類の栽培面積上位 10 市町村（販売農家）

順位	市町村	面積	構成比
-	神奈川県	83,422	100.0
1	小田原市	30,054	36.0
2	湯河原町	9,803	11.8
3	南足柄市	8,551	10.3
4	中井町	6,063	7.3
5	伊勢原市	4,285	5.1
6	大磯町	3,864	4.6
7	秦野市	3,085	3.7
8	大井町	2,521	3.0
9	二宮町	2,430	2.9
10	横須賀市	2,377	2.8

順位	市町村	面積	構成比
-	神奈川県	11,209	100.0
1	小田原市	6,115	54.6
2	湯河原町	1,543	13.8
3	藤沢市	521	4.6
4	横浜市	358	3.2
5	南足柄市	357	3.2
6	伊勢原市	353	3.1
7	真鶴町	245	2.2
8	中井町	244	2.2
9	大磯町	225	2.0
10	川崎市	221	2.0

順位	市町村	面積	構成比
-	神奈川県	394	100.0
1	横浜市	75	19.0
2	藤沢市	64	16.2
3	秦野市	54	13.7
4	厚木市	52	13.2
5	相模原市	42	10.7

順位	市町村	面積	構成比
-	神奈川県	5,883	100.0
1	横浜市	1,530	26.0
2	藤沢市	1,058	18.0
3	伊勢原市	981	16.7
4	秦野市	507	8.6
5	川崎市	287	4.9
6	大和市	263	4.5
7	相模原市	241	4.1
8	厚木市	214	3.6
9	茅ヶ崎市	183	3.1
10	平塚市	180	3.1

順位	市町村	面積	構成比
-	神奈川県	16,243	100.0
1	横浜市	5,278	32.5
2	川崎市	2,953	18.2
3	伊勢原市	1,789	11.0
4	藤沢市	1,611	9.9
5	小田原市	1,092	6.7
6	厚木市	1,056	6.5
7	寒川町	522	3.2
8	秦野市	381	2.3
8	大和市	381	2.3
10	綾瀬市	364	2.2

順位	市町村	面積	構成比
-	神奈川県	13,594	100.0
1	横浜市	3,042	22.4
2	川崎市	1,930	14.2
3	伊勢原市	1,564	11.5
4	小田原市	794	5.8
5	藤沢市	673	5.0
6	平塚市	619	4.6
7	秦野市	595	4.4
8	茅ヶ崎市	574	4.2
9	南足柄市	540	4.0
10	厚木市	484	3.6

順位	市町村	面積	構成比
-	神奈川県	14,441	100.0
1	横浜市	4,035	27.9
2	秦野市	2,018	14.0
3	南足柄市	1,000	6.9
4	藤沢市	703	4.9
5	中井町	696	4.8
6	茅ヶ崎市	658	4.6
7	大井町	586	4.1
8	厚木市	576	4.0
9	平塚市	574	4.0
10	相模原市	558	3.9

順位	市町村	面積	構成比
-	神奈川県	16,293	100.0
1	小田原市	6,713	41.2
2	横浜市	2,267	13.9
3	南足柄市	1,617	9.9
4	川崎市	862	5.3
5	山北町	653	4.0
6	秦野市	609	3.7
7	藤沢市	571	3.5
8	中井町	503	3.1
9	大和市	421	2.6
10	大井町	388	2.4

順位	市町村	面積	構成比
-	神奈川県	366	100.0
1	小田原市	145	39.6
2	横浜市	52	14.2
3	南足柄市	41	11.2
4	川崎市	22	6.0
5	秦野市	17	4.6
6	藤沢市	15	4.1
7	山北町	10	2.7

順位	市町村	面積	構成比
-	神奈川県	8,298	100.0
1	小田原市	4,047	48.8
2	南足柄市	1,096	13.2
3	山北町	605	7.3
4	横浜市	442	5.3
5	秦野市	342	4.1
6	中井町	336	4.0
7	湯河原町	271	3.3
8	川崎市	196	2.4
9	松田町	157	1.9
10	大井町	152	1.8

7 家畜の飼養頭羽数上位 10 市町村（農業経営体）

乳用牛 (単位：頭)				豚 (単位：頭)				採卵鶏 (単位：羽)			
順位	市町村	飼養頭数	構成比	順位	市町村	飼養頭数	構成比	順位	市町村	飼養羽数	構成比
-	神奈川県	6,776	100.0	-	神奈川県	146,634	100.0	-	神奈川県	1,888,087	100.0
1	伊勢原市	1,424	21.0	1	平塚市	69,695	47.5	1	愛川町	687,000	36.4
2	平塚市	1,119	16.5	2	藤沢市	19,095	13.0	2	綾瀬市	399,020	21.1
3	秦野市	923	13.6	3	厚木市	16,025	10.9	3	相模原市	332,647	17.6
4	相模原市	572	8.4	4	横浜市	9,642	6.6	4	川崎市	151,180	8.0
5	横浜市	535	7.9	5	綾瀬市	6,098	4.2	5	座間市	151,000	8.0
6	茅ヶ崎市	365	5.4					6	伊勢原市	85,500	4.5
7	厚木市	316	4.7					7	横須賀市	30,670	1.6
8	藤沢市	312	4.6					8	横浜市	20,060	1.1
9	中井町	232	3.4					9	小田原市	5,718	0.3
10	小田原市	216	3.2					10	藤沢市	2,260	0.1

注：数値が秘匿されている市町村については、順位から除外している。